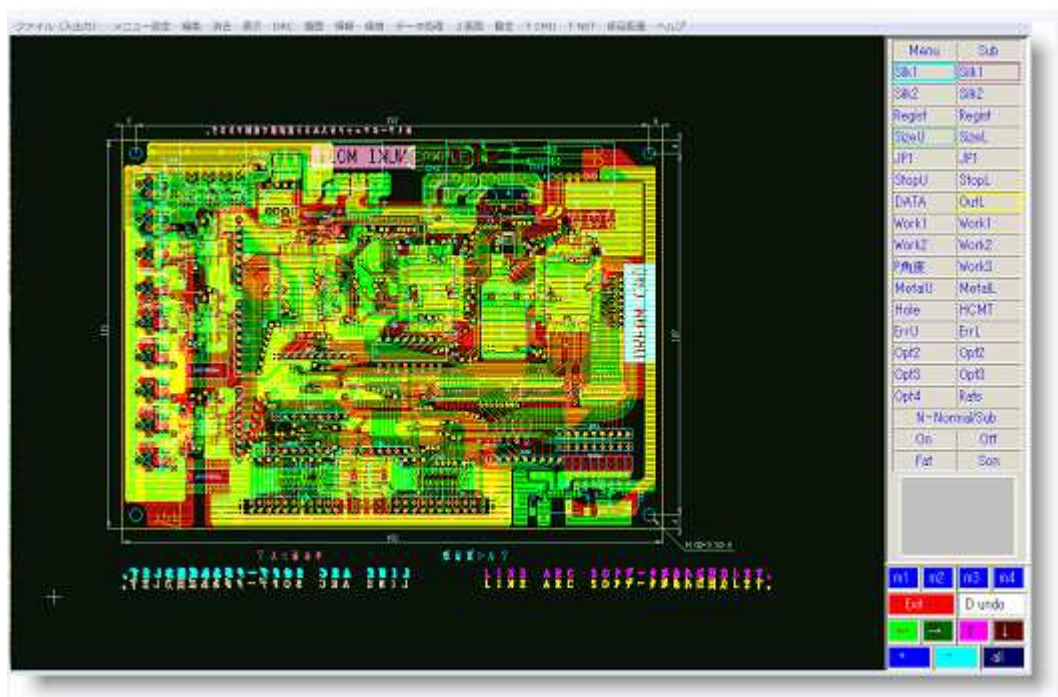


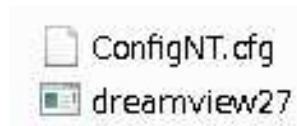
DREAMCAD (WSS,ORANGE,GENMAIシリーズデータ)

DREAMVIEW簡易説明書



製品版開発途中の機能を削減したソフトです。
ここではビューの用途のみに絞り説明します。

初期設定



CFG ファイル ←
アプリケーション

層の色などの設定ファイル
無くても動作します。
(ない場合は画面のサイズ、
色合いはデフォルト設定の
ConfigNT.cfgが生成
されます。)

上記ファイルを任意のフォルダ名内に入れてください

作成フォルダ c:¥dream

c:¥dream¥ConfigNT.cfg

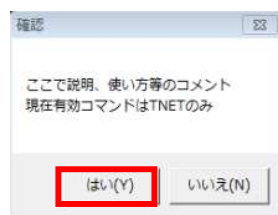
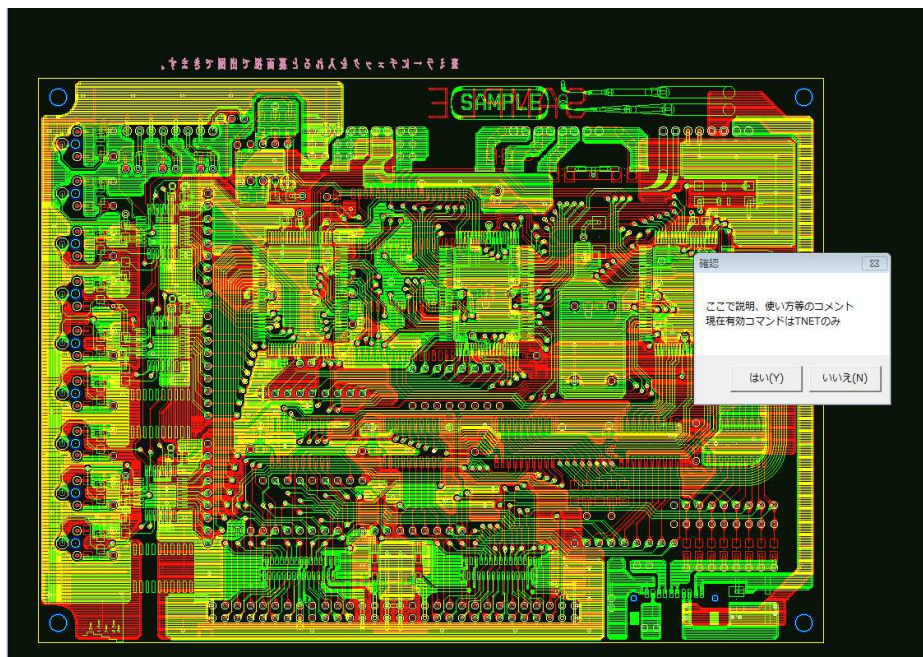
c:¥dream¥dreamview27.exe

このフォルダ内にCADデータ(ファイル名.DRM)
ファイルを入れてください。

まずdreamview27.exe を実行し

CADファイルを読み込んでください。

例は SAMPLE.DRMを読み込んだ図



以下メッセージが出ます。Yを押してください。

基本

基本操作

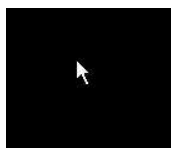
ソフト独特の操作点についての解説。

DREAMにはマウスオペレーションだけで描画モード、コマンドモードに切り替えられるよう 2つのカーソルモードがあります。

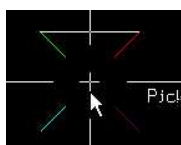
(注意:カーソルによって動作する機能が全く違います)



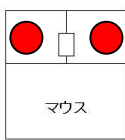
MDカーソル(ムーブ、ドローカーソル)
(全体図や拡大図したいときのカーソルマーク
CADの場合配線するときのカーソルマーク)



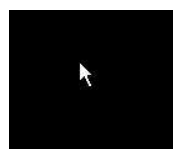
システムカーソル
(層の選択やコマンド実行するときのカーソルマーク)



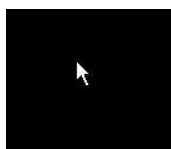
MDカーソル



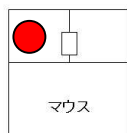
左右のボタンを押すと



システムカーソル



システムカーソル



左のボタンを押すと



MDカーソル

ビュー用途の場合は

MDカーソルを使うことがほとんどです。

システムカーソルになったら左クリックでMDカーソルに戻ると覚えてください。

基本

基本操作

ソフト独特の操作点についての解説。

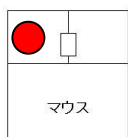
ビューワに必要な全体図、ズーム方法を解説します。

ビューワに必要な全体図、ズーム方法を解説します。

全体図



MDカーソルにする。
マウス左ボタンを押したまま
マウスを上を移動する。

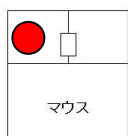


左ボタンを押しながら
上にスライドする

拡大



MDカーソルにして
マウス左ボタンを押したまま
マウスを右に移動する。
白い範囲枠が拡大ゾーンです。



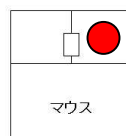
左ボタンを押しながら
右にスライドする



パン



MDカーソルにして
マウス右ボタンを押したまま
見たい方向に移動する。



右ボタンを押しながら
見たい方向に移動する

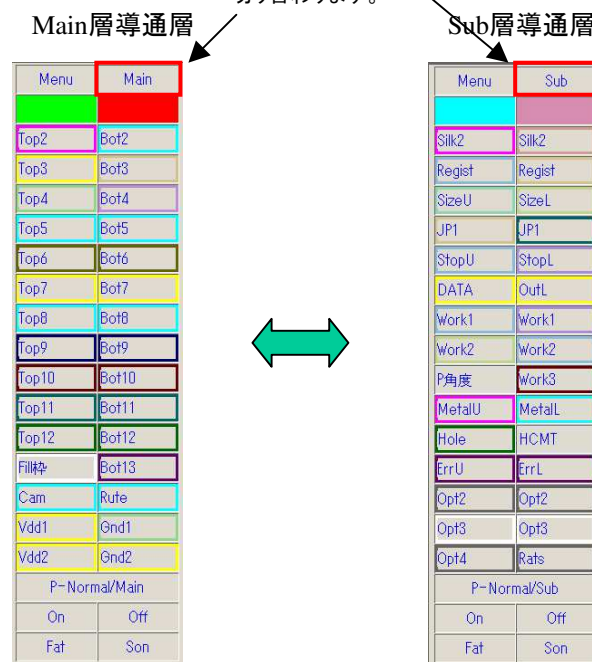


※マウスホイールでも拡大縮小は可能です。

注意：システムカーソルで上記操作しても表示されません。（良くあります）

層について解説。

クリックすると
Main層、Sub層が
切り替わります。



Main層は導通層で Sub層はシルク、レジストのような非導通層です。

基本

表示のon、off

層のボタンの説明

各層の表示on、offについて
Top1層のボタンを例にします。
左クリックをしていくごとにボタンの表示が
透明→枠→ベタ と循環して変わります。

着色なし

Main->>sub	
Top1	Bot1
Top2	Bot2
Top3	Bot3
Top4	Bot4

表示されません。

着色あり 枠のみ

Main->>sub	
Top1	Bot1
Top2	Bot2
Top3	Bot3
Top4	Bot4

表示される

着色あり ボタン全部

Main->>sub	
	Bot1
Top2	Bot2
Top3	Bot3
Top4	Bot4

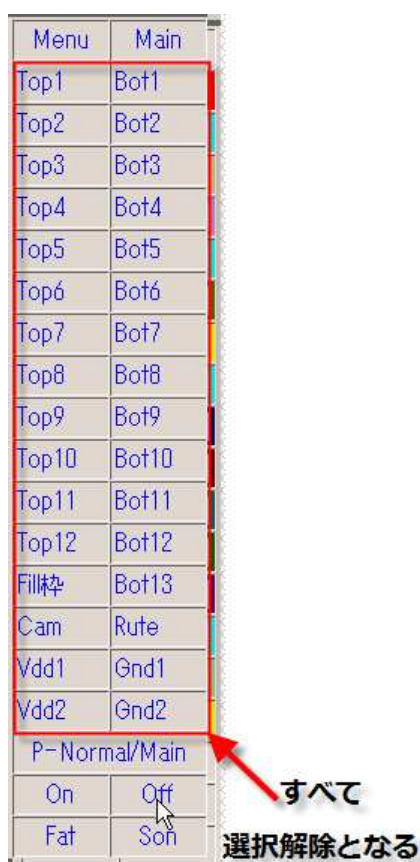
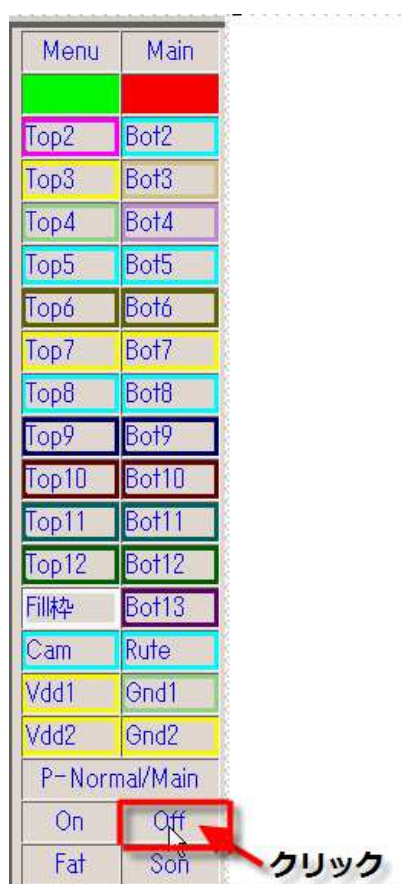
表示される
(CADならその層が
編集できる)

基本

表示層(全層offの仕方)

層ボタンをまとめてoffにする解説(Main層)

見たい層を全部マウスで設定するのは大変なので
まずすべて選択解除した後見たい層をonしたほうが良いです。全層をoffにするには Offボタンを押します。



これでMain層32層がoffとなりました。
次ページは残りSub層32層を全層offします。

基本

表示層(全層offの仕方)

層ボタンをまとめてoffする
解説(sub層)

Mainボタンを押しSub層に切り替えます。
切り替えた後 Offボタンを押します。
これで64層すべてOffとなりました。



※慣れたら楽な方法。

層のボタンを右クリックすると 全層offし 同時にその右クリックした層がonになります。

表示が白黒ベタとなります。

もう一度右クリックすると 黒白ベタ

もう一度右クリックすると 標準カラー表示を繰り返します。

(単層を白黒ベタで見たいときにはとても便利な操作です)

基本

表示したい層の選択

選択層の例
両面基板の例

層をoffにした後は見たい層に左クリックしonしてきます下図は一般的な両面基板の層設定です。
この選択になるように層をセットします。

Menu	Main	
		Bot1
Top2	Bot2	
Top3	Bot3	
Top4	Bot4	半田面パターン
Top5	Bot5	
Top6	Bot6	
Top7	Bot7	Top1
Top8	Bot8	部品面パターン
Top9	Bot9	
Top10	Bot10	
Top11	Bot11	
Top12	Bot12	
Fill枠	Bot13	
Cam	Rute	
Vdd1	Gnd1	
Vdd2	Gnd2	
P-Normal/Main		
On	Off	
Fat	Son	

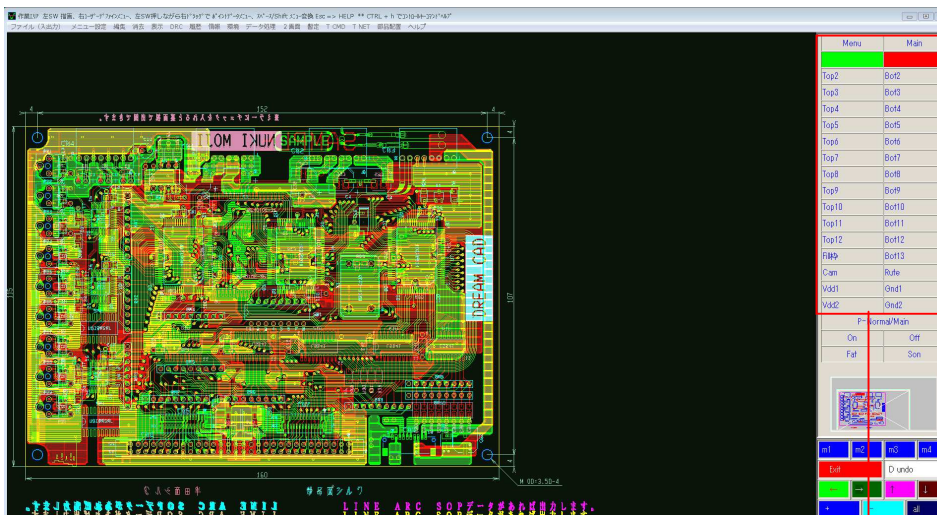
Menu	Sub	
Silk1	Silk1	半田面シルク
Silk2	Silk2	部品面シルク
Regist	Regist	
SizeU	SizeL	寸法線（半田面側）
JP1	JP1	寸法線（部品面側）
StopU	StopL	
DATA	OutL	外形
Work1	Work1	
Work2	Work2	
P角度	Work3	
MetalU	MetalL	
Hole	HCMT	
ErrU	ErrL	
Opt2	Opt2	
Opt3	Opt3	
Opt4	Rats	
P-Normal/Sub		
On	Off	
Fat	Son	

この設定で表示したときの画面は次ページのような表示となります。

基本

表示したい層の選択

選択層の表示例



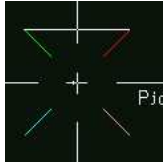
Main層での設定



Sub層での設定

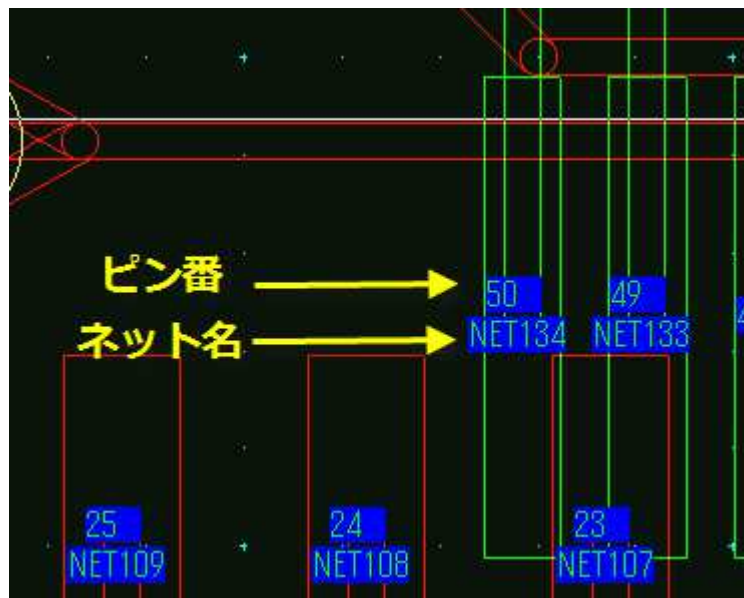
sample.drmのデータだとしたら
図のような表示となればokです。

ズームしたときの表示解説



MDカーソルにします。

図面を拡大すると
下図のようにPADやVIAに 背景青、白文字で
上段が ピン番
下段がネット名です。



※ピン番、ネット名表示をoffにしたい時は
キーボードのKを押します。
押すごとに非表示、ネットのみ、ピンのみ、両方表示
となります。

部品の場所を探したいとき



MDカーソルにします。



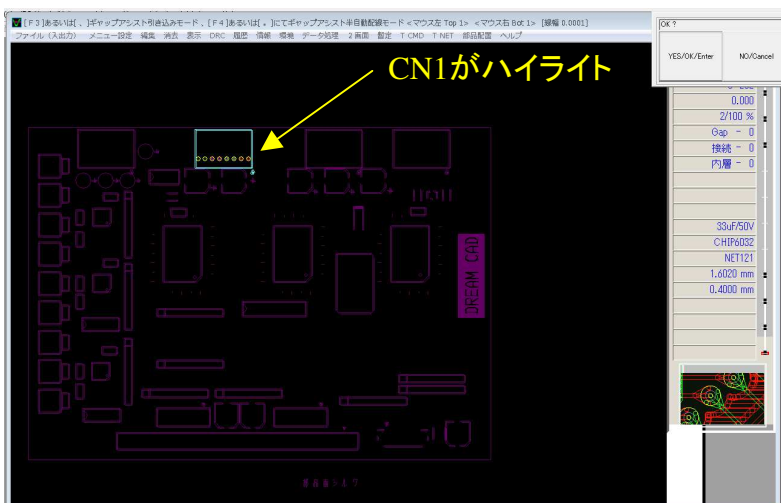
キーボードの（コロン）を押します。

下記メニューが表示されます。 選択部品名に部品番号を押し
部品表示ボタンを押すとその部品の位置が表示されます。



※キーボードで直接入力しても
okです。

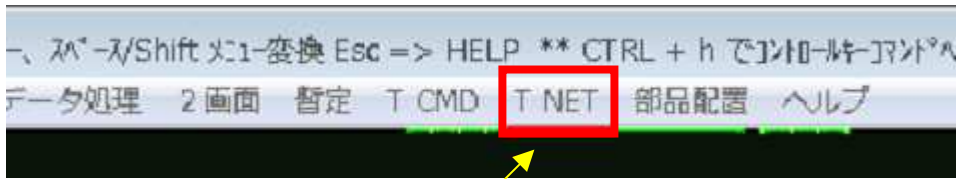
キースカ、リターンで部品を
カーソル上に取り出します



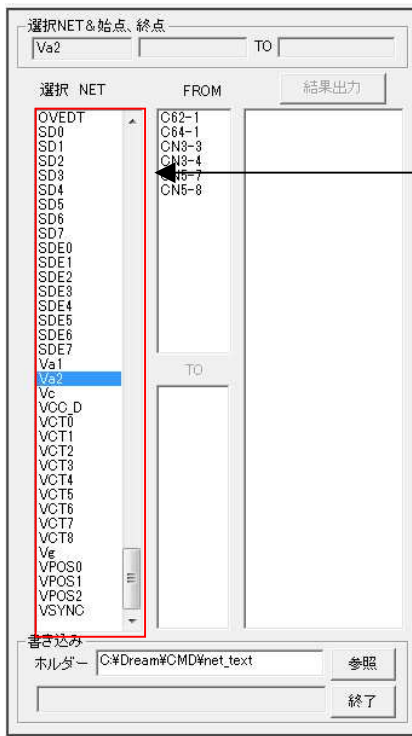
対象部品がハイライトされます。

基板全体の中の位置関係が確認できます。

配線の経路を確認したい時

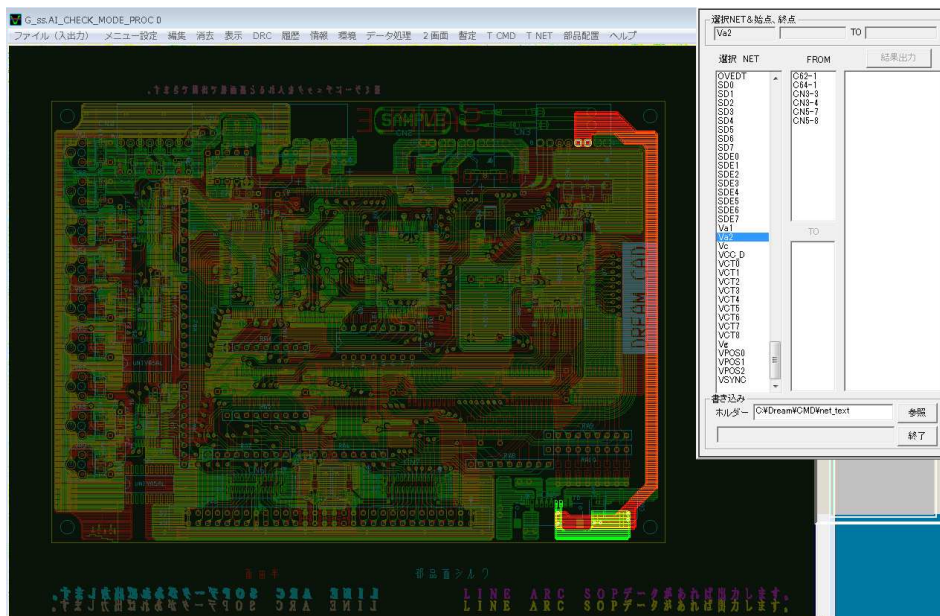


メニューの TNETを選択します。



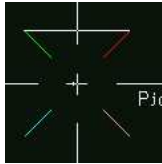
下記メニューが表示されます。
赤枠のボックス内にネット名が表示されます。
確認したいネット名をクリックします。

選択したネット名の配線経路がハイライト表示されます。



配線の経路を確認したい時2

パターンをクリックして配線経路を確認する方法です。
必要な層を表示して 確認したい配線をクリックします。



MDカーソルにします。

確認した配線のいずれかを左クリックします。
すると配線経路が白く表示されブリンクします。

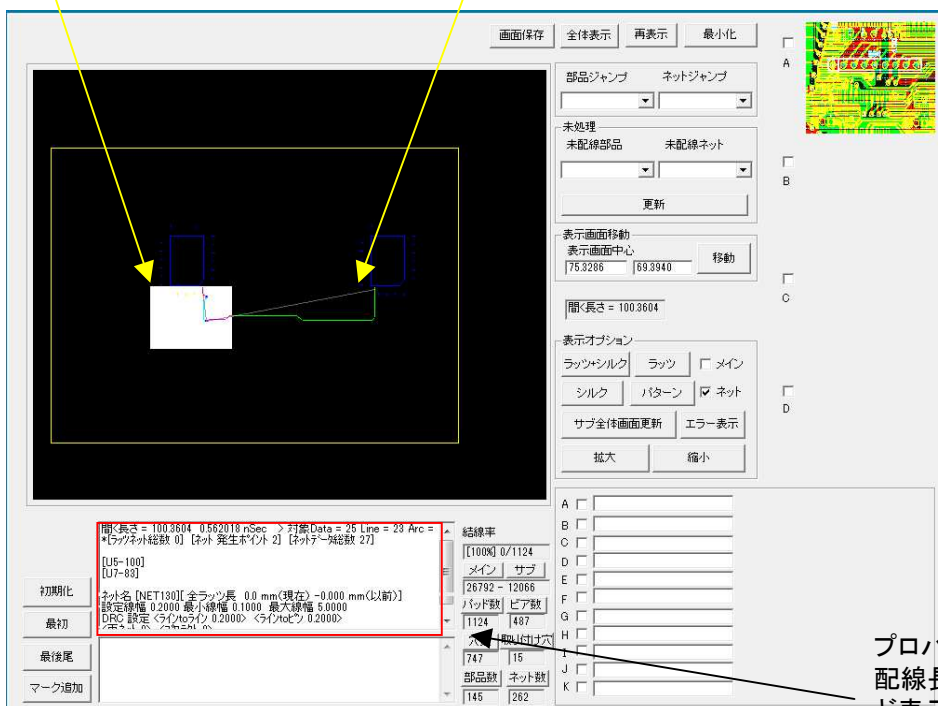


例としてここを左クリック
すると 配線経路の
ラインの中心に白くライン
が発生しブリンク表示しま
す。

層表示から
プロパティ表示となります。

1画面の表示エリア

クリックした配線経路



2画面環境場合は
左図が表示されます。

全体図とし
クリックした配線経路
が確認できます。

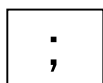
プロパティ表示
配線長や接続ネットピンな
ど表示されます。

細かい寸法の確認

カーソルにゲージ表示し 確認できる機能

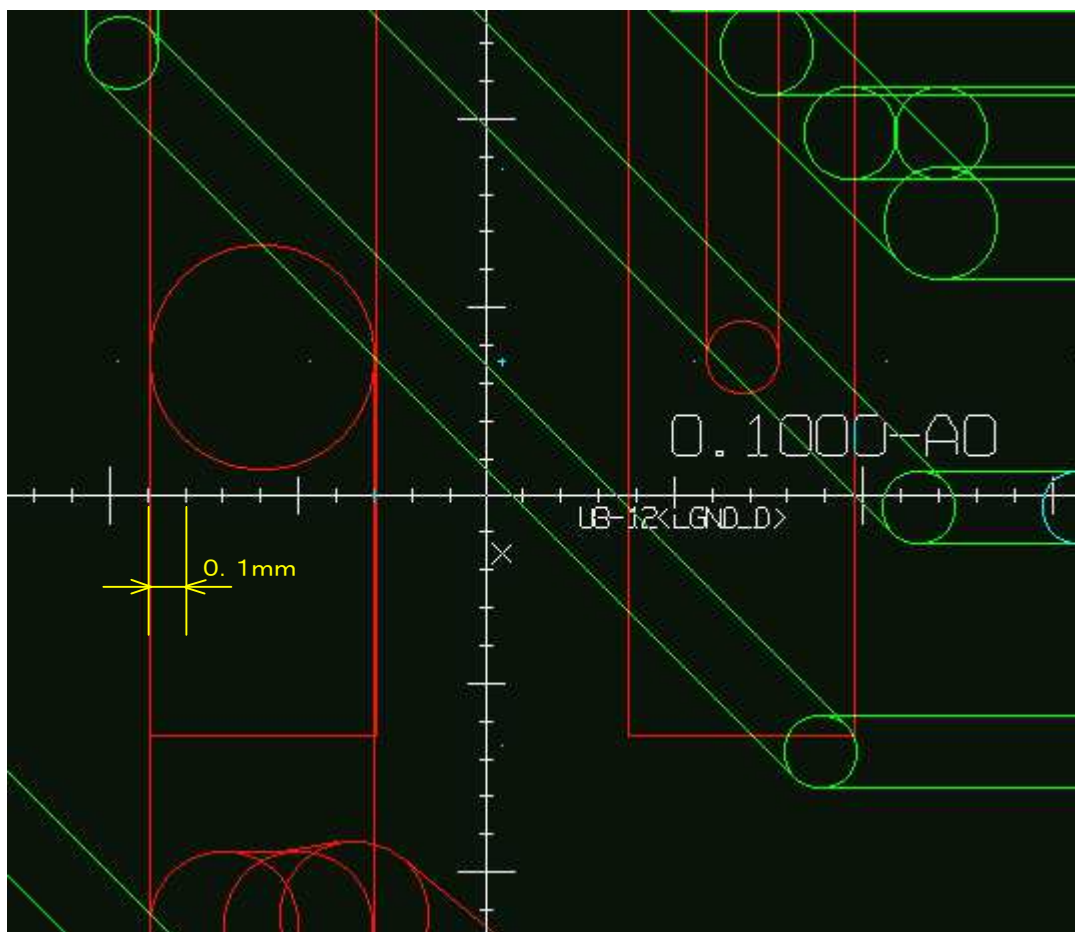


MDカーソルにします。




キーボードのセミコロンをおします。
(セミコロンを押すごとにゲージのグリッド単位が変わります。)

カーソルにゲージが表示されます。(拡大していけば 細かいゲージに変化します)
そのグリッドをはかり目分量で測ることが可能です。
下図例では 1グリッドが0.1mm単位です。






豆知識 ※ゲージに角度を付けるには キーボードのkを押します。
戻すときは shift+kで戻ります。

便利なテンキー 部品パン機能

ネット名や部品名をクリックしなくても
テンキーの上下で確認することが出来る機能です。
テンキーの  キーを押すごとに 3モードに切り替わります。

選択


1.  部品サーチモード テンキーの上下左右,5,のキーコマンド
2.  NETサーチモード テンキーの上下左右,5,のキーコマンド
3.  層切り替え テンキー、5 再表示

CAD画面上のタブ部分に上記表示されます。

立ち上げたときは部品サーチモードになっています。
使うキーはテンキーの

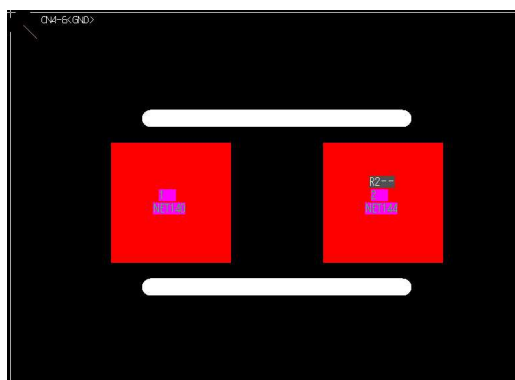
上	下	左	右
8	2	4	6
と 5 の決定(リターンのようなもの)			

上下は 部品の数字部分
左右は 部品のアルファベット部分が変わります。
CAD画面上のタブ部分に番号が変化します。

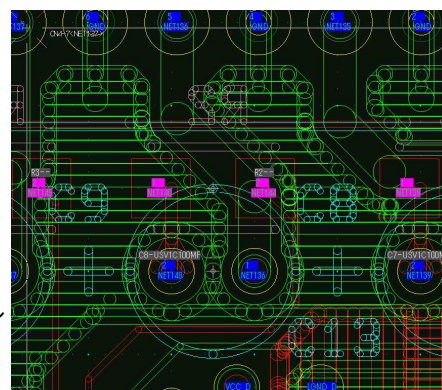
例.  R1 文字リンク 1 あります。



5で決定するとその部品が白く表示されます。
マウスのホイール回転でズーム率を多小下げると
その部品周辺を表示してみることができます。



5で 決定



周辺配線が表示されます。

他のモードも要領は同じです。
ネットの経路を確認したい場合は /キーを押し
ネットサーチモードに変え 5で決定してください。

configNT.cfg について

※configNT.cfgファイルの概要

CADの画面のサイズ、色、データを読むメモリサイズ等の環境の設定ファイルです。

ファイル属性は 読み取り専用です。
そうでなくても良いですが

属性: ☒ 読み取り専用(R) ☐ 隠しファイル(H) ☒ アーカイブ(D)

CADを使用している間に色の設定を変えたりすると
設定が更新されてしまいます。
固定しておくために ファイル属性を読み取り専用とします。

CADの画面サイズは
#WINの次の行の
<1920><1040> の箇所を
解像度に合わせて変更してください。

データサイズが大きすぎて読めないときは
#MEMの次の行
<230000000>の箇所を
変更してみてください。
また、同梱のconfigNT.cfg が無い場合でも
一度立ち上げたあと生成されます。
デフォルト設定のファイルです。



```
ConfigNT - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#WIN
<0> <0> <1920> <1040>
#END
#MEM
<230000000>
#END
#FME
<300000000>
#END
#FDA
<150000>
#END
#COL
<4>
<3>
<6>
```